

防災トイレについて

災害が起きたときに、衛生環境や避難者の安心につながるトイレトレーラの導入についての考えはあるのか。

災害時には避難所用トイレとしての利用も可能なコンテナトイレの計画を国へ申請しており、計画が承認され次第、交付金を活用して購入を行っていく。

備蓄食について

食物アレルギーに配慮した備蓄食について。

市民生活部長 吉田運送
株式会社と協定書を締結しており、災害時にコンテナトイレの提供を受けられることになっている。
災害用コンテナトイレの購入については、平時には東結城駅周辺に設置、

市民生活部長 特定原材料等が使われていない、食物アレルギーを持って

いる方に配慮した備蓄食料も含め購入している。

心身障害者への交通費助成制度について

精神障害3級の方も交通費助成制度に加える考えはあるのか。

保健福祉部長 県内多くの自治体で同様の助成をしているが、3級を対象にしている自治体はない。
対象者の拡大については、近隣自治体の状況を

勘案しながら慎重に検討していく。

不登校支援について

本市の教育支援センターには、相談員やスクールカウンセラーが配置されていますが、校内フリースクールには、専門の相談員や支援員がいません。今後の支援体制の充実について。

教育部長 校内フリースクールへの専門教員等の

配置は必要と認識しているが、配置に当たっては、財政的観点等を総合的に勘案し調査検討していく。

子供が安心して過ごせる環境について

教育長 個々のニーズに応じた学びの支援ができるような環境を整え、「誰一人取り残されない教育」を目指していく。

女性や高齢者に配慮した 防災トイレの整備を



関 晴美
(せき はるみ)

録画映像
はこちら

